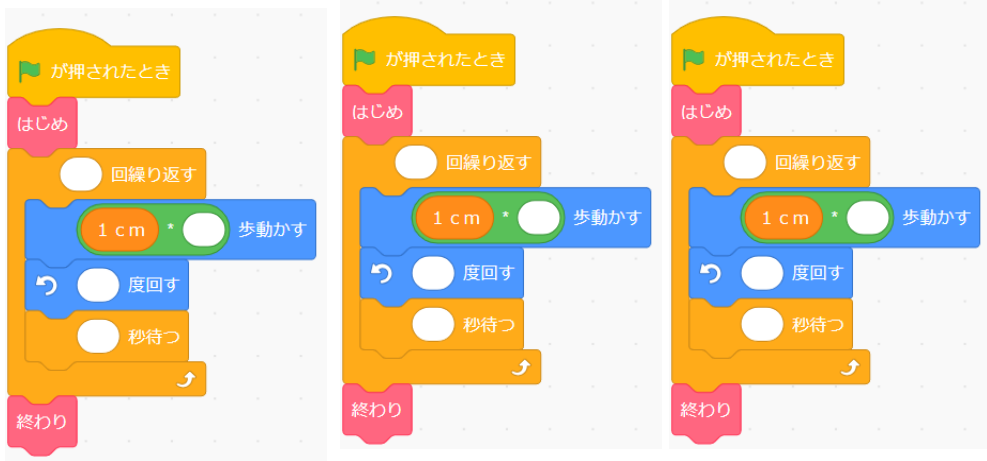


小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
 未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	変わり方調べ (算数)
学年	小学校第4学年
目標	伴って変わる2つの数量の関係をプログラミングすることで、□や○を用いて式に表したりして、その関係をとらえることができる。
教材タイプ	ビジュアル言語
使用教材	Scratch
環境	2人1台端末
都道府県	埼玉県
実施校	戸田市立戸田第一小学校
学習活動の概要・児童の様子 (プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>1 教師のプログラミングを見せ、見つけたきまりと見比べさせる。</p> <p>2 前時のまとめを想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図、表、式を使ってきまりを見つけるとまわりの長さがわかることを確認する。 <p>3 問題を知る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 正○角形のときのまわりの長さを求め、きまりを見つけよう。 </div> <p>(条件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・描画する図形は正三角形、正五角形、正六角形とし、図形の角度は、正三角形 120 度、正五角形 72 度、正六角形 60 度とする。 <p>4 ペアで問題解決する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四角形のとくと同じように表や式、Scratch からきまりをみつけられることを確認する。 <div style="text-align: center; margin: 20px 0;">  </div> <p>5 全体で共有する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童がつくったプログラムを掲示し、見つけたきまりと共に発表させ、形が変わっても一辺の長さともわりの長さとの間にきまりはあることに気付かせる。
成果と課題	<p>○単元の発展として位置づけることが学習内容を確認なものにすることができた。</p> <p>▲サンプルプログラムがないと難しく、その使用を前提にした方がよい。</p>